



飛鶴の森林から

第38号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

野生動物自動撮影カメラの取り扱い及び設置指導

4月14日(水) 根釧東部森林管理署において、野生動物自動撮影カメラの取り扱い及び現地への設置指導を行いました。当センターでは、一昨年からパイロットフォレストで野生動物自動撮影調査を行っており、自動撮影カメラの取り扱い・設置等について、ある程度のノウハウを蓄積してきたことから、今回、設置指導を行ったものです。

北海道森林管理局では、エゾシカ対策を局の最重要課題の一つとして位置づけ、主体的・直接的な取組を推進しています。知床世界自然遺産地域を抱える根釧東部署でもエゾシカ対策が大きな課題となっています。今回の設置目的は、エゾシカを対象に、餌付けによりどの程度のシカが集まるのか、自動撮影カメラを設置してシカの行動を観察することです。設置箇所は羅臼町春刈古丹国有林内で、3ヶ所にカメラを設置しました。森林管理局及び根釧東部署では、今回の調査結果を見ながら、今後、エゾシカの生態捕獲が可能かどうか検討していくことにしています。



自動撮影
カメラの
設置指導



森林・林業再生プラン実践事業現地検討会

4月6日(火)～8日(木)の3日間、鶴居村において、国の森林・林業再生プラン実践事業の現地検討会が開かれました。鶴居村は、国の森林・林業再生プランのモデル地区として全国から選ばれた5ヶ所のうちの1ヶ所です。鶴居村森林組合が実施主体となり、大型機械を導入する欧州の先進林業を取り入れ、木材の安定供給体制の構築を目指すものです。



成長・形質がよい「将来の木」を100本/ha程度選定

今回は、林業先進国のドイツ・オーストリアからフォレスター(森林官)が来村し、ヘリコプターによる事業予定地の調査や現地検討会が行われました。フォレスターからは、現地調査を踏まえ、地域の森林づくり全般及びモデル事業で導入する作業システム等についての提言がありました。

鶴居村森林組合では、今回の提言及び6月頃の欧州視察を踏まえ、林道の路網計画・作業システム・目標林形等を検討し、モデル事業を進める予定になっています。



現地調査(林業機械の使用状況)



「雷別ドングリ倶楽部」活動予定



「雷別ドングリ倶楽部」は、雷別地区での自然再生（森林再生）活動に継続的に関わっていただくボランティアの皆さんの集まりです。今年度の活動予定が決まりましたのでお知らせします。

また、「雷別ドングリ倶楽部」では独自の活動のほか、一般公募により参加していただく方々と一緒に次の活動も行えます。

『雷別ドングリ倶楽部』会員のみでの活動

第1回 5月26日(水)
実施内容：炭だし(PF)・播種作業(PF)
シードトラップ設置(雷別)

第2回 7月14日(水)
実施内容：苗木の移植作業(センター)
下草刈り(雷別)

第3回 9月8日(水)
実施内容：製品生産作業地見学(PF又は雷別)
植物の観察(PF又は雷別)

第4回 11月24日(水)
実施内容：炭焼き(PF)・花炭(PF)
保育間伐作業(PF)

第5回 2月23日(水)
実施内容：冬芽の観察会(センター周辺)

以上を予定しています。

なお、()内は実施場所で、PFはパイロットフォレスト、雷別は雷別自然再生事業地です。

『雷別ドングリ倶楽部』+『ボランティア養成講座(一般公募)』での活動

ボランティア養成講座は3回とも雷別自然再生事業地にて実施予定です。

第1回 6月27日(日)
実施内容：植樹・看板設置、野草観察等

第2回 9月5日(日)
実施内容：種子豊凶調査・シードトラップ設置、キノコの観察等

第3回 10月31日(日)
実施内容：シードトラップ巡視及び広葉樹タネの採取、野鳥・野生動物の学習等



雷別ドングリ倶楽部への参加申し込み受付は随時行っています。参加を希望される方は、当センター(朝倉)までご連絡ください。

H21.5.20 実施：播種作業(PF)

「インフォメーション」



飛鶴の森林から

当センター広報紙の名称が今回から変わりました。

イメージとして、釧路湿原といえばタンチョウ、そのタンチョウをイメージする名称「飛鶴の森林から」(ひかくのもりから)に変更しました。

これまでの「インフォメーション」同様よろしくをお願いします。



釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターの職員を紹介します

所長(上席自然再生指導官)
中島 章文(なかしま あきふみ)
総括
職員(自然再生指導官)
國井 進(くにい すずむ)
森林環境教育担当
朝倉 基博(あさくら もとひろ)
市民活動(ボランティア支援)担当
林 直樹(はやし なおき)
自然再生事業担当
(4月1日付けで宗谷森林管理署から転入)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp